

現場業務を効率化！

# DXを実現するローコード開発ツール



Magic Software Japan K.K.



# TOC

## 目次

Chapter 1 人材不足に多くの企業が悩む中、業務効率化・生産性向上は急務

Chapter 2 文字認識の精度が高いAI-OCR

Chapter 3 AI-OCRは現場におけるインプット作業の効率化・自動化が可能

Chapter 4 AI-OCRの効果を最大化するためには業務システムへの連携・組み込みが重要

Chapter 5 ローコード開発ツールはプロトタイプの作成・修正・変更が容易なMagic xpaがおすすめ

Chapter 6 業務効率化を実現するAI-OCRの活用事例

—— 6-1 江部松商事様-大人数で対応していた入荷業務をモバイルデバイスでカイゼン

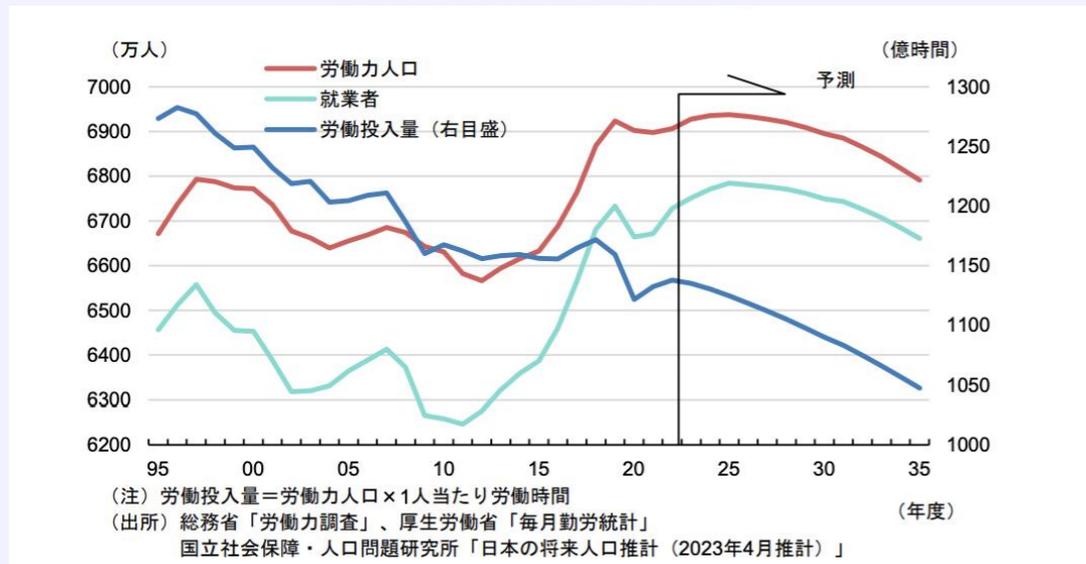
—— 6-2 江部松商事様-FAXで届く注文書の入力作業をAI-OCRで作業量を半分に

Chapter 7 AI-OCRの活用で業務効率化・生産性向上を実現しよう

# 人材不足に多くの企業が悩む中、業務効率化・生産性向上は急務

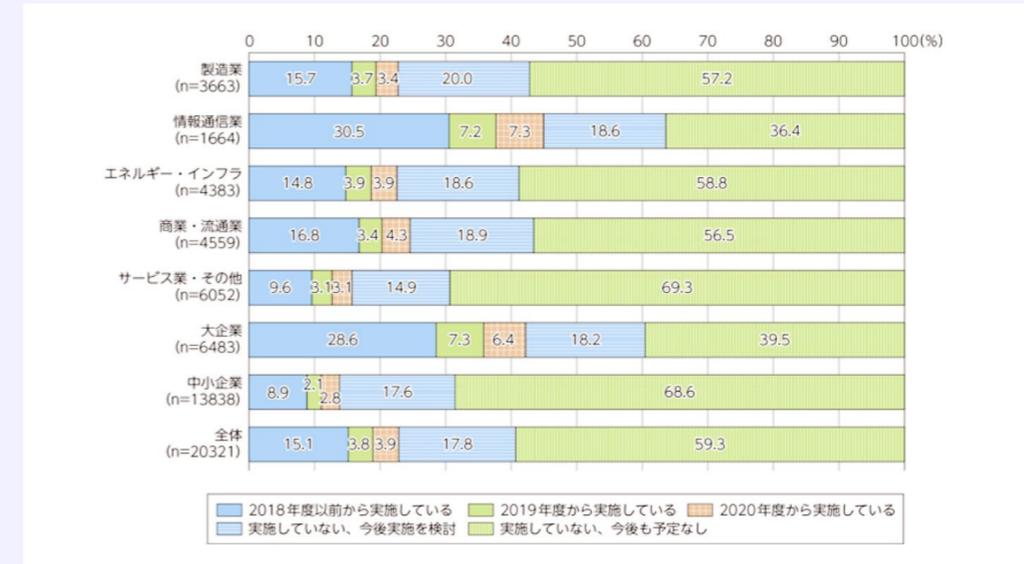
日本経済の調査によると2020年代前半の5年間は、平均で+1.6%と高い伸びとなります。コロナ禍の反動も含め2021～2022年度に高い伸びを記録した後、2023～2025年度の平均成長率も年率+1.3%と堅調な伸びが続くことが理由です。

## 労働力人口と労働投入量の予測



参考：三菱UFJリサーチ&コンサルティング|[日本経済の中期見通し（2023～20235年）](#)

## DXの取り組み状況



参考：株式会社情報通信総合研究所|[デジタル・トランスフォーメーションによる経済へのインパクトに関する調査研究の請負](#)

人手不足を解消するためには、業務効率化や生産性向上が不可欠です。しかし実際は**データを手作業で入力している現場がまだ数多く存在します**。企業におけるデジタル化の取組状況について調査を実施したところ、約6割の企業が「実施していない、今後も予定なし」と回答しています。また大企業では4割強が取り組んでいるのに対して、中小企業では1割強と少ないのが現状です。

# 文字認識の精度が高いAI-OCR

AI-OCRとは、画像データに記載されている文字を抽出し、文字データに変換する光学認識機能のことです。AI技術を組み合わせており、**従来のOCRと比べて機械学習による文字認識率の向上や帳票フォーマットの設計をせずに項目の抽出が可能**となりました。

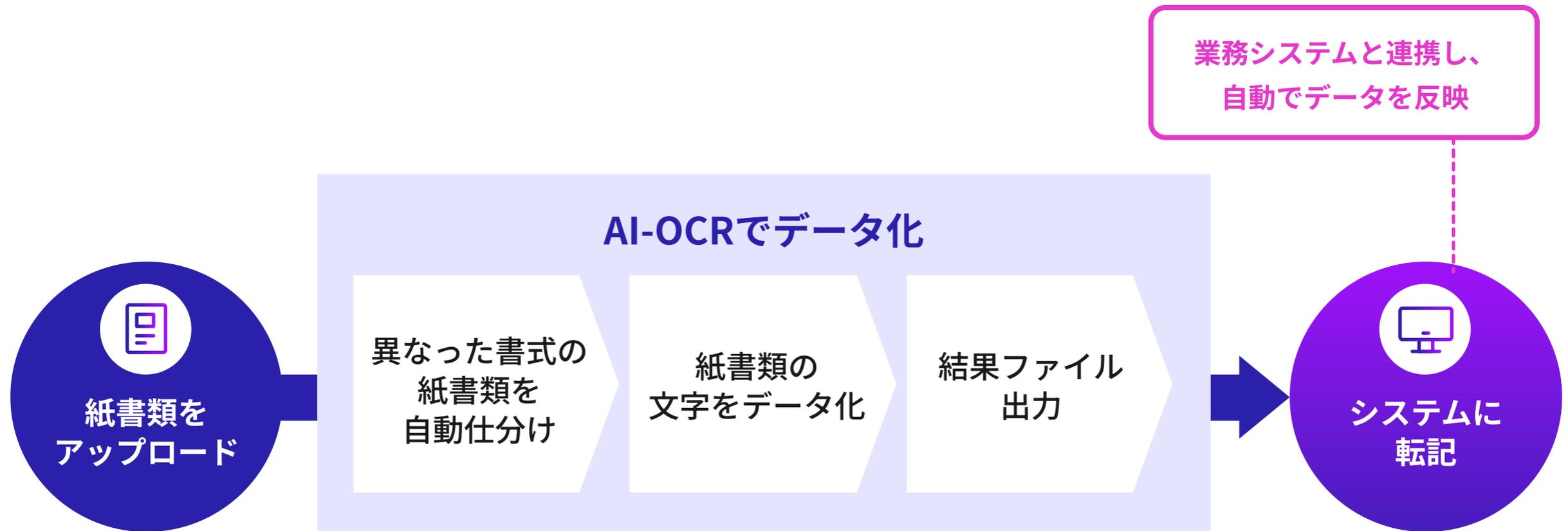


業務の効率性や生産性を高めるためには基幹システムの刷新にコストを割くのではなく、システムへのインプットを早めたほうが即効性があります。AI-OCRの導入によって、大量の文書データを迅速かつ正確に処理することが可能となり、業務効率の向上やコスト削減に寄与します。



# AI-OCRは現場におけるインプット作業の効率化・自動化が可能

端末処理を導入することで、現場におけるインプット作業の効率化・自動化が可能ですが、しかし業務システムと連携されていないと入力・転記の手間が掛かり、使い勝手が悪くなります。使い勝手が悪い端末処理は作業効率さが下がるため、導入しても現場で使われなくなる可能性が高まります。



AI-OCRを現場で活用するためには業務システムと連携し、**データの反映を自動化することが重要**

# AI-OCRの効果を最大化するためには業務システムへの連携・組み込みが重要

AI-OCRを現場で活用するためには、業務システムへの連携・組み込みが重要です。具体的には、端末処理における現場からの要望やフィードバックを業務システムに反映する必要があります。

## 業務システムの変更例

### 画面サイズ



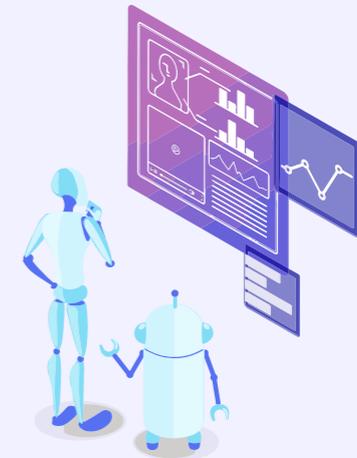
### レイアウト



### ボタンの配置



### データ項目

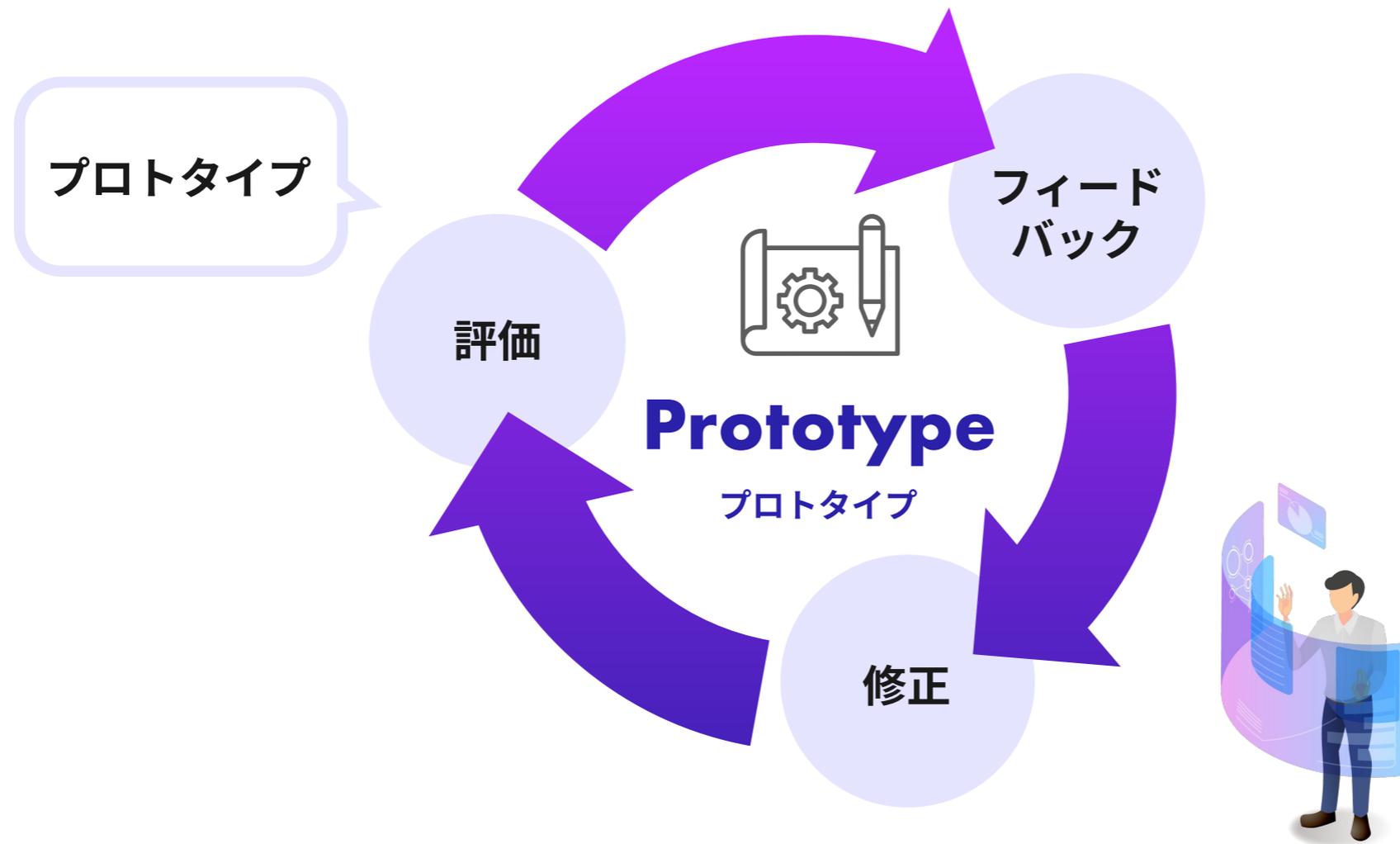


業務システムを使用状況に合わせて柔軟に変更するためには、

**ローコード開発が有効**

# ローコード開発ツールはプロトタイプの作成・修正・変更が容易な Magic xpaがおすすめ

AI-OCRの導入効果を高めるためには、現場の要望・フィードバックに合わせて業務システムを変更する必要があります。ローコード開発ツールのMagic xpaであれば、プロトタイプの作成・修正・変更を容易に行うことが可能です。

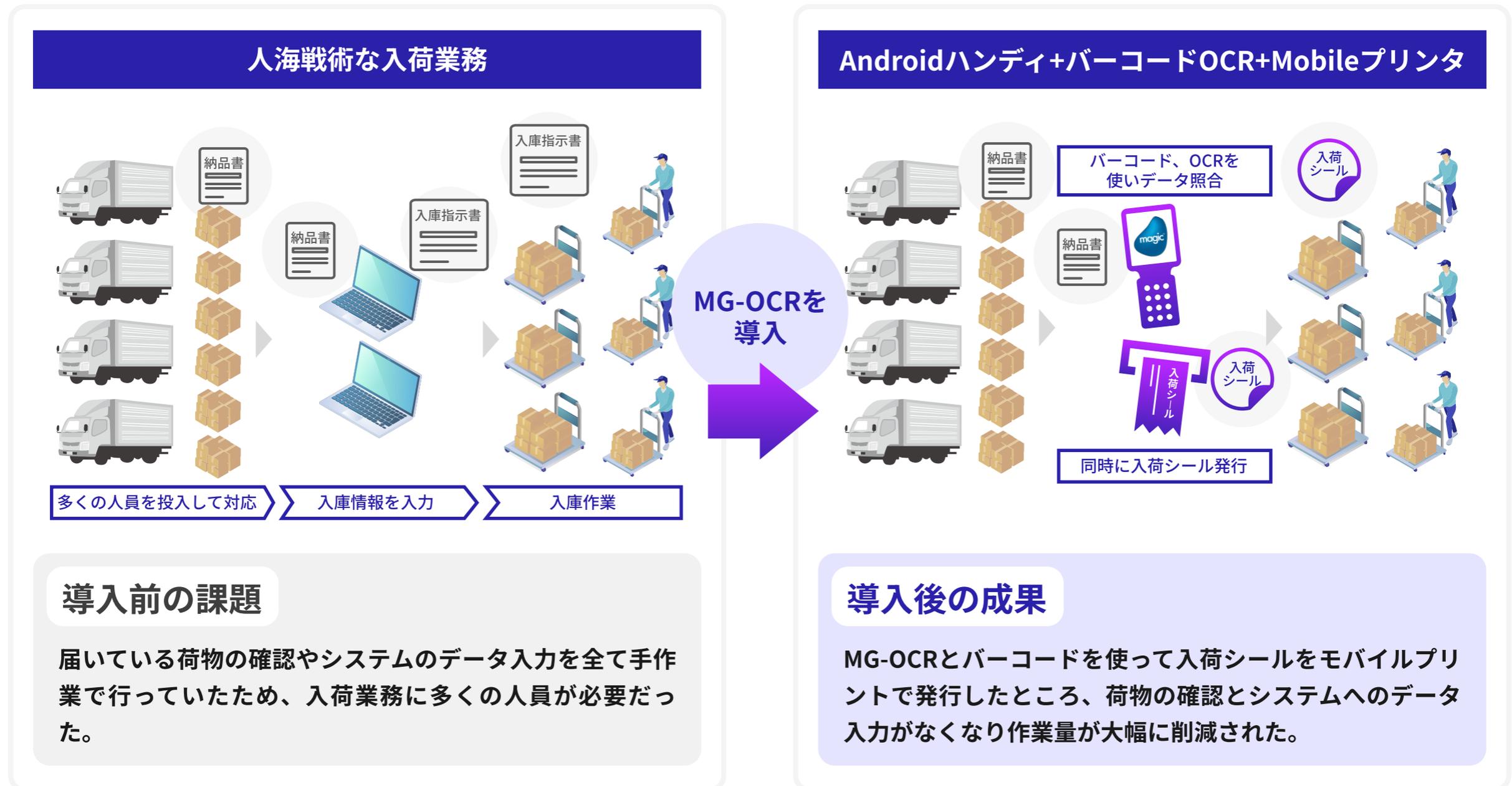


Magic xpaで開発したアプリケーションは、PC・スマートフォン・タブレット・ハンディーターミナルなど様々なデバイスで利用できます。

# 業務効率化を実現するAI-OCRの活用事例

## 2-1 江部松商事様-大人数で対応していた入荷業務をモバイルデバイスでカイゼン

Magic xpaに組み込めるAI-OCRには、手書きの文字も読める「MOJIRU」とオフライン環境でも使用できる「MG-OCR」があります。MOJIRUの読み取り機能は世界最高水準であり、MG-OCRはバーコード認識が可能です。



# 業務効率化を実現するAI-OCRの活用事例

## 2-2 江部松商事様-FAXで届く注文書の入力作業をAI-OCRで作業量を半分に

### モニターを2台並べて手入力

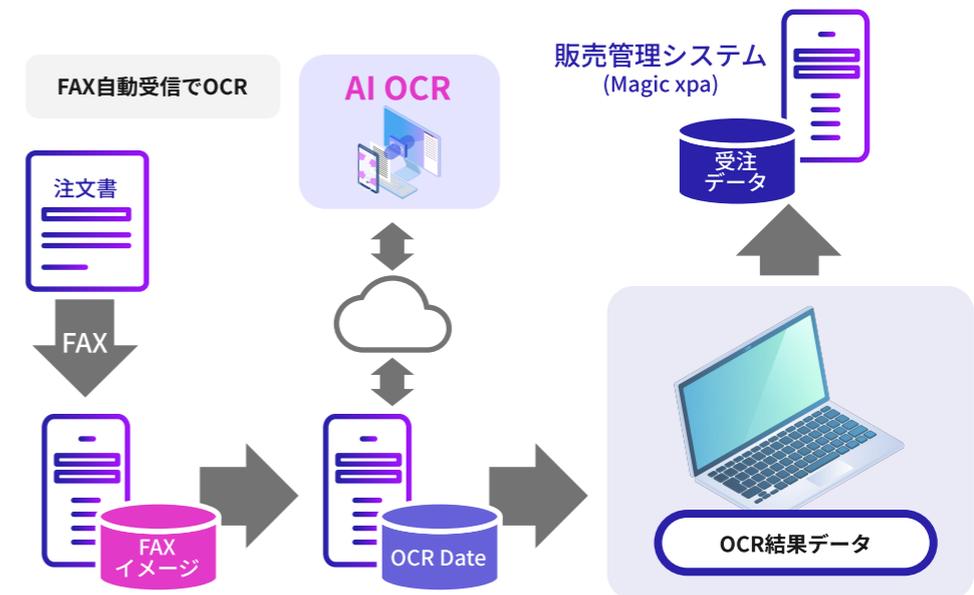


一方のモニターでFAXイメージ、もう一方で受注入力印刷してもう一度確認

#### 導入前の課題

- FAX画像をモニターで見ながらもう1台の画面で入力していたため、12名稼働して約5時間かかっていた。
- 受注伝票を印刷した後にチェックする必要があったため、10名稼働して約3時間かかっていた。

### AI-OCRと連携して自動入力



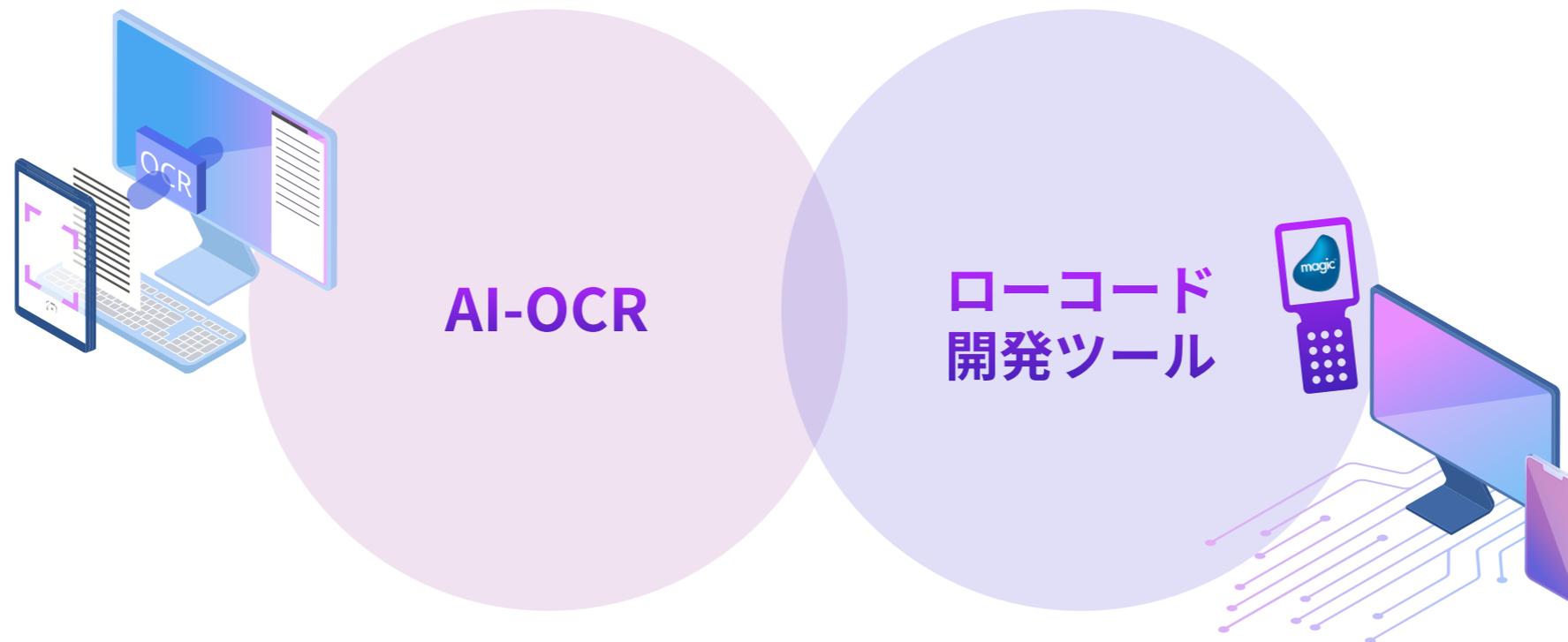
確認と修正だけ

#### 導入後の成果

MOJIRUを導入しOCRベースの新しい受注エントリーをMagicで開発したところ、入力作業が半減、入力後の確認作業が不要になった。熟練者以外でも対応できるようになり、FAXを印刷するための紙代も削減された。

# AI-OCRの活用で業務効率化・生産性向上を実現しよう

AI-OCRを導入することで、単純作業や反復作業の効率化・自動化が可能です。また生産性が向上し、人手不足の解消にもつながります。しかしAI-OCRを活用するためには、現場の要望に合わせて業務システムを変更する必要があります。**ローコード開発が有効であり、Magic xpaであればプロトタイプの作成・修正・変更が容易**です。



カスタマイズもしやすく、AI-OCRを導入したものの使い勝手が悪くて現場で使用しなくなるケースを防ぐことができます。



Magic Software Japan K.K. マジックソフトウェアジャパン株式会社

〒169-0074 東京都新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー24階

無料で問い合わせる

サービス詳細を見る